

会議結果報告書

令和5年11月20日

会議の名称	第5回志木地区児童センター整備基本計画検討委員会
開催日時	令和5年10月27日（金）午後6時30分～午後7時10分
開催場所	志木市役所 3階 大会議室3-3
出席委員	垣野委員長、鈴木委員、津田委員、大熊委員、佐藤委員、竹前委員、川村委員、松澤委員 (計8人)
欠席委員	(計0人)
説明員職氏名	平間子ども支援課主査 (計1人)
議事概要	1. 開会 2. 第4回検討委員会議事概要の確認 3. 議題 ・志木地区児童センター整備基本計画に関する検討結果報告書(案)について 4. その他 5. 閉会
結果	審議内容の記録のとおり
事務局職員	近藤子ども・健康部長、飯田子ども支援課長、清水子ども支援課副課長、平間子ども支援課主査、松永子ども支援課主任

審 議 内 容 の 記 録

会議の開始前に会議の公開及び傍聴の有無について確認を行った。
→傍聴希望者あり 1名

1. 開会

垣野委員長より開会を告げる。

2. 第4回検討委員会議事概要の確認

質疑なし。

3. 議題

・志木地区児童センター整備基本計画に関する検討結果報告書（案）について

事務局より、概要を説明した後、前回会議以降の修正内容や、「基本理念」について、検討を行った。

【質疑】

（前回会議以降の修正内容について）

委員長：前回会議以降の修正内容として、整備計画地（予定）の図や、「施設整備の意義」の全般的な意義の④などが修正された。この件について意見等はあるか。

委員：「施設整備の意義」の全般的な意義の④が「誰でもふらっと気軽に立ち寄れる場所」と修正されたが、①の「安全な居場所」と相反するのではないか。

委員：意義と実際の運用は別に考えるべきである。目指すべきは、「誰でもふらっと気軽に立ち寄れる場所」である。そのためには、誰でもふらっと気軽に立ち寄れるように安全を確保する必要がある。何か困っている子や、自分の居場所がほしい子など、特定の子どもたちだけではなく、無目的に入れる施設を目指したらよいと考える。

委員：保護者が安心して送り出せる場所となるよう、施設の運用を検討していただきたい。

委員：気軽に立ち寄れる場所かどうかは、自分も行ってもよいと思える建物、雰囲気、文化づくりが大切になってくる。

そのためには、運用で安全を確保する必要がある。

委員：目指すべきものとして、意義があるべきである。運用で安全を確保

するため、入り口で大人が見守るなどの対応が必要となる。
一方、目の届かない所は、防犯カメラなどで目を届くようにして、人の動きを見張るのではなく、見守ることで、安全を確保したらよいのではないか。運用での安全確保が大切になることから、意義はこのままの文言でよいと考える。

委員長：文言は現在の表現のままとする。今後の運営で、安全を確保し、多くの人が気軽に立ち寄れる施設となることを目指すこととする。

（「基本理念」について）

委員長：前回の検討委員会で懸案事項となっていた基本理念について「人とのつながり」や「地域とのつながり」といったキーワードを踏まえた修正案が示された。この件について意見等はあるか。

委員：「しきっ子」という志木市ならではのワードが入ったことにより、施設整備の全般的な意義ともリンクしており、とてもよいと思う。

委員：保護者のつながりができればとてもよいと思う。

委員長：基本理念についても、現在の表現のままとする。

委員長：以上で懸案事項の検討は終了した。後日、検討委員会を代表して、検討結果報告書を市へ提出する。

4. その他

事務局より、今後のスケジュールを説明した。

本検討委員会でご検討いただいた「志木地区児童センター整備基本計画に関する検討結果報告書」を基に、基本計画の素案を作成し、意見公募手続を経て、令和6年3月に基本計画の策定を予定している。

5. 閉会

垣野委員長が閉会を告げる。